

平成 26 年 12 月 17 日  
練馬区教育委員会教育指導課

「いじめ防止実践事例」発表候補（学校（園）奨励賞）について

平成 27 年 1 月 26 日（月）の「練馬区いじめ防止実践事例発表会」において表彰する学校（園）奨励賞の候補について、以下のとおりとする。なお、年内に表彰校を決定し、実践発表を依頼する。

1 幼稚園

部門	取組の概要
保育部門	発達の緩やかな幼児について、友達との関わりからその違いについて目を向け、教師の言葉かけ等指導を振り返る 2 事例を挙げた。
	学級全体に「ふわふわ言葉」「とげとげ言葉」の話をし、子供たちからも「言葉」について自由に出し合う中でイメージをもった。その後、日常生活の中で意識した言葉かけが増えるとともに、家庭にも伝え、連携を図った。
保護者・地域との連携部門	保護者と人権 DVD「しっばい いっばい もいっかい」を保護者とともに視聴し、子供たちと感想を発表し合った。その後、保護者と話合いの場をもち、失敗したときの子供への対応の仕方について改めて学んだ。

2 小学校

部門	取組の概要
授業・保育部門	都の「いじめ防止プログラム」の学習プログラムを活用し、各学級で年 3～4 回授業を行うとともに、いじめアンケートともリンクさせ、いじめに対する意識を高め、学級経営に反映させた。
	生活指導部の教員から全校朝会にて「あいさつ」の大切さを伝え、「あいさつキャラクター」の募集を行った。一人一人にキャラクターを考えさせ、代表委員会の取組につなげた。
児童会・生徒会部門	いじめに関する寸劇を代表委員会が考えた。「からかわれている児童がいる」「周囲の友達は気にかけている」「本人は大丈夫だといっている」などの場面を設定しそれについて劇を見る児童に考えさせた。
	代表委員会が校門に立ち、あいさつ運動を行った。あいさつ運動を推進する目的で目を見て元気あいさつできるように「あいさつ B I N G O カード」を作成した。代表委員会があいさつをテーマにした劇を演じた。開二中の生徒がいじめ防止の呼びかけを行った。
保護者・地域との連携部門	該当なし

### 3 中学校

部門	取組の概要
授業・保育部門	<p>光が丘警察の協力で犯罪被害にあった遺族の方を招いて話を聞く「命の大切さ教室」を行った。話を聞き、感想を書いた。</p>
	<p>3年の家庭科で、幼児ふれあい体験を実施。自分が大切に育てられてきたことを実感した者も大切にすることを育てた。</p>
	<p>学校独自の学校満足度調査に取組児童生徒の集団における意識調査を実施。特異な傾向の児童生徒はスクールカウンセラーや心のふれあい相談員との面談を設定し、状況の把握と心のケアを実施。</p>
児童会・生徒会部門	<p>「いじめ防止推進キャンペーン」としていじめに関するアンケートを全校生徒対象に実施。いじめだと思う行為、いじめ防止を推進する人員を学級から募り、全校組織で行っていく。年明け1月より活動予定。</p>
	<p>生徒会がいじめをテーマに演劇を実施する予定。</p>
保護者・地域との連携部門	<p>P T A 運営委員会を中心に、子供の携帯について協議した。メールやラインを使用する時間。そもそも必要かどうか。保護者は子供の使用の実態を把握しているかなど、時間をかけて協議した。いずれは中学校の携帯やスマホの約束事を作成していく。</p>
	<p>あいさつ・スマイルクリーン運動を保護者・近隣小学校と協力して行った。</p>